

各位

リックソフト株式会社
代表取締役 大貫 浩
(コード番号：4429、東証マザーズ)

リックソフト 複数の文書管理基盤を統合しUIを一元化できる 「CARA」の取り扱いを開始

リックソフト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：大貫 浩）は、エンタープライズ向けインテリジェントコンテンツサービスプラットフォーム『CARA』や『Documentum』、『Alfresco』、『Oracle WebCenter』などのコンテンツ管理システム向けの最先端ソフトウェアを提供する Generis 社（本社：米フロリダ州、President & CEO：James Kelleher）とパートナー契約を締結し、Generis 社の主力製品である『CARA』の取り扱いを2019年9月12日（木）に開始しました。

近年注目されるインテリジェントコンテンツサービスプラットフォームとは、ビジネスプロセス管理（BPM）と業界の規制情報管理（RIM）の両方に対応可能な次世代型のコンテンツサービスプラットフォームです。

企業組織ではファイルや文書をファイルサーバー、クラウド型ストレージ（例：Box など）、コンテンツ管理システム（例：Alfresco、Office365 SharePoint など）、基幹系情報システム（ERP）などに保存して情報共有や業務を行っています。

さまざまな保存先に文書やファイルが保管されることで、コンテンツ管理が煩雑になり、検索効率も低下し、組織全体の生産性にも影響が出てくるようになってきました。また情報が分散されることで全体の把握やアクセス権限管理などのセキュリティやコンプライアンスも徹底しにくくなっています。

そうした現状に対して『CARA』は複数に分散して保存された文書やファイルを単一のユーザー・インターフェースで取り扱うことができるため、業務効率を向上させることができます。さらに規制産業向けに設計されているためコンプライアンスやセキュリティの強化も同時に実現することが可能となります。

取り扱い開始日

2019年9月12日

製品紹介

『CARA』は、以下のような特徴があります。

▼優れたユーザビリティ

統一されたインターフェースは大切です。しかし、さまざまな業務が必要な企業・組織において、必ずしも、統一されたインターフェースが生産性アップにつながるものではありません。

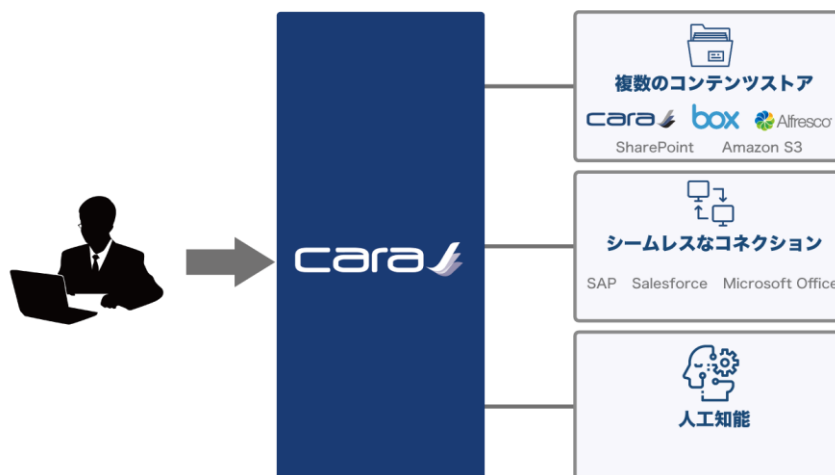
『CARA』は、シンプルかつユーザーごとにパーソナライズできるUIを提供することによって、業務を効率化することができるように設計されています。

また、iOS用やAndroid用モバイルアプリケーションも提供され、場所やデバイスを選ばずに情報を参照することができます。

▼あらゆる場所に保存されたファイルを素早く検索

Box、SharePoint、Documentum、Alfresco、ファイルシステムだけでなく、SAPなどの業務システムに保存されたコンテンツを横断的に検索することが可能になります。

また、Elasticの技術によって数百万ドキュメントを1秒以内で検索するため、ほしい情報に素早く到達することができます。業務の効率化を図ることができます。



▼ノンプログラミングで統合

従来のコンテンツ管理システムでは、ユーザーの業務に合わせるために、多くの工数をかけたコーディング作業が必要とされていました。

『CARA』には 40,000 を超える設定要素を用意し、コーディングによるカスタマイズを排除します。

これにより、短時間でサービスをリリースでき、さらにアジャイル的に機能追加や変更を簡単に行うことができます。

▼セキュリティー・コンプライアンス

『CARA』は、規制産業向けに設計され、大手製薬会社向けのアプリケーションとして開発され、強力なコンプライアンス機能を提供します。

ドキュメント、グループ、ユーザーレベルまで細かいアクセス権限を設定でき、メタデータによる条件ルール設定も可能です。

このため、あらゆるセキュリティー・コンプライアンス要求に対応できます。

▼導入実績

『CARA』は規制情報管理(RIM)、品質管理(QMS)、ラベル付け、eTMF、IDMP を対象としていますが、金融機関や法務機関、個人情報、機密情報、人事情報などを取り扱う企業にも採用されています。

世界の大手ライフサイエンス企業 10 社のうち 8 社、政府機関、金融/エンジニアリング企業、メディア企業で導入され、世界中で 40 万人以上のユーザーが『CARA』を利用しています。

製品ページ

<https://www.ricksoft.jp/cara/>

今後の展望

リックソフトは日本唯一の Alfresco ストラテジックパートナーとしてサービス展開してきたコンテンツ管理のノウハウやナレッジを『CARA』にも適用することでデジタルトランスフォーメーション(DX)を目指す日本企業の支援を強化します。

また、Alfresco だけでなく、Office 365 の SharePoint や Box などを利用中の企業にも『CARA』の導入を推進し、日本企業の生産性向上を実現します。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

リックソフト株式会社 マーケティングチーム プレスリリース担当

電話：03-6262-3947

メール：mkt@ricksoft.jp

<登録商標について>

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標、または商標です。

用語集

用語	説明
コンテンツ	画像、動画、音声、テキストすべてを含む『情報の内容』のこと。
ECM	Enterprise Content Management（エンタープライズコンテンツ管理） 企業などで業務上取り扱う文書ファイルや各種のメディアデータなどを包括的・体系的に保管・管理する方式や、そのための情報システム
アジャイル	アジャイルとは『すばやい』『俊敏な』という意味で、反復（イテレーション）と呼ばれる短い開発期間単位で開発を行い、市場や顧客からの要件や仕様変更に対応できる開発手法。
インターフェース	本プレスリリースでは「ユーザーインターフェース」を指す。 コンピューターが利用者に対して情報を表示する方式や、利用者が情報を入力するための方式を定めたもの。
コーディング	プログラミング言語を用いて、コンピューターが処理可能な形式のプログラム（ソースコード）を記述すること。
デジタルトランスフォーメーション	企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。（経済産業省 2018年12月「DX推進ガイドライン」 https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181212004/20181212004-1.pdf